

番 号	24-20	申 請 者	渡邊江利子 柳本あき
【審査申請課題】			
iPadを用いた術前訪問の効果 -STAI不安尺度検査を用いて-			
【審査課題の概要】			
<p>手術室看護師は、患者が手術前に抱えている様々な不安を少しでも軽減できるよう術前訪問を行っている。当手術室でもほぼ全例術前訪問の実施ができていますが、麻酔種別の術前訪問用紙に沿った紙面のみの説明である。</p> <p>写真やビデオ・DVDを用いた術前訪問の効果についての先行研究は多くあるが、iPadを用いた術前訪問の研究はまだ少ない。今回、患者が抱えている様々な不安の中で未知な環境に対する不安に着目し、手術室入室から麻酔体位の設定など一連の流れを、iPadを用いた動画や静止画で説明することを考えた。紙面の文章のみの説明から、iPadを用いた視聴覚に訴える説明としたことでの効果を明らかにし、今後の術前訪問のあり方を検討したいと考えた。そこでまず、現在行っている術前訪問で患者の意見を聞き映像を使用した術前訪問の必要性を検討し、映像の作成を行う。その際、視覚的情報の提供は、環境や行動をイメージしやすいというメリットもあるが、必要以上の情報提供による不安の増強がないよう、内容を十分に検討し作成する。</p> <p>iPadを活用しない群（現在のiPadができる前に術前訪問を行った患者）・活用した群両者に、STAI特性・状態不安尺度用紙を配付し、記入後封筒に入れて直接回収BOXに入れてもらう。分析は、STAI特性・状態不安得点を採点し、t検定を行い、iPadを活用した群・活用しない群の有意差を明らかにする。</p>			
審査結果	承認（平成25年3月13日）		